

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1958
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.7 (1958. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580701--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾經濟学会
七月号

論 說	農業集落の性格規定について……………小池基之(一)
	紀州熊野一揆について……………速水融(三)
	所得—余暇撰好場の測定(一)……………尾崎巖(七)
資 料	資本主義的拡大再生産の歴史的考察……………常盤政治(五)
	——ドイツ科学アカデミー・經濟科学研究所年報第I卷 (一九五七年)所収・Jurgen Kuczynski: Zur Geschichte der erweiterten Reproduktion unter dem Kapitalismus.——
	相関係数と multicollinearity……………佐藤保(三)
	書評及び紹介
	經濟学関係文献目録

第五十一卷

第七号

昭和三十三年七月十三日
昭和三十三年七月十四日
昭和三十三年七月十五日
昭和三十三年七月十六日
昭和三十三年七月十七日
昭和三十三年七月十八日
昭和三十三年七月十九日
昭和三十三年七月二十日
昭和三十三年七月二十一日
昭和三十三年七月二十二日
昭和三十三年七月二十三日
昭和三十三年七月二十四日
昭和三十三年七月二十五日
昭和三十三年七月二十六日
昭和三十三年七月二十七日
昭和三十三年七月二十八日
昭和三十三年七月二十九日
昭和三十三年七月三十日
昭和三十三年七月三十一日

昭和三十三年六月二十四日
昭和三十三年六月二十五日
昭和三十三年六月二十六日
昭和三十三年六月二十七日
昭和三十三年六月二十八日
昭和三十三年六月二十九日
昭和三十三年六月三十日
昭和三十三年七月一日
昭和三十三年七月二日
昭和三十三年七月三日
昭和三十三年七月四日
昭和三十三年七月五日
昭和三十三年七月六日
昭和三十三年七月七日
昭和三十三年七月八日
昭和三十三年七月九日
昭和三十三年七月十日
昭和三十三年七月十一日
昭和三十三年七月十二日

三田学会雑誌

昭和三十三年六月号

定価

金九〇円

(送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI (Mita Journal of Economics)

Vol. 51, No. 6

June, 1958

CONTENTS

The Problem of Balance in Soviet Economy	K. Kiga (1)	Page
Die historische Bedeutung des deutschen Bauernkrieges (Nr. 4).....	M. Terao (14)	
Trade Unions in Modern Economy Production and Cost Structure	Y. Sano (46)	
The Rôle of the German Working-class in the March Revolution of 1848. Treating of „Die deutschen Arbeiter in der Revolution von 1848“, von Karl Obermann	K. Iida (59)	
„Über die besonderen Faktoren der zyklischen Entwicklung im Kapitalismus nach dem zweiten Weltkrieg“ by J. L. Schmidt.....	M. Tokiwa (75)	
Reviews and Notes		

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
(The Keio Economic Society)
Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
Keio-Gijuku University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Price 90 yen

書評及び紹介

パンカースト著

『サン・シモン主義者ミルおよびカーライル——近代思想序説』………飯田 鼎（公）

農業集落の性格規定について

小池基之

- 一 はしがき
- 二 経営組織と土地利用
- 三 技術水準
- 四 兼業の諸形態
- 五 総括

昭和三〇年以来農林省統計調査部においておこなわれている「農村動態調査」は、農家を中心とした従来の調査と異なっており、農家の集団である「農業集落」を調査単位としていることにおいて、特色をもっている。ここに「農業集落」とは「農家が農業上相互に最も密接に共同し合っている農家集団」をいう（農林省「臨時農業基本調査・農業集落の決定ならびに調査区設定手引」昭和二九年八月・一一頁*）。「農業上相互に最も密接に共同し合っている」とは「具体

農業集落の性格規定について

的にいえば農道、農業用灌漑排水施設、共同林野、農業用の各種建物や農機具などの利用を通じてお互に協同し合っているばかりでなく、ゆい、手伝い、または共同作業を通じ、あるいは農産物の供出または共同出荷など農業経営のあらゆる面にわたる協力はもちろん、冠婚葬祭その他の生活面にまで密接に結びついている」という意味である（同上）。「農家」ではなく「農業集落」がここに調査対象とされたのは、なによりも、農業構造をあくからかにすることを意図してであった。農業構造は「必ずしも単なる行政上の便宜から区切られた行政区域などによってその様相を異にしているものではなく、自然的、社会的、経済的諸条件によってきわめて複雑な発展を遂げているもの」であり、「同じ町村の中でもいわゆる部落によってその農業構造が著しく異なる」といわねばならない（同上五一六頁）ので、農家を単位としそれを町村ごとに一本の統計として集計するという従来の方法では、立地条件の異なった、農業組織に差異